

青少年人口
 男 9,764人 (-44)
 女 9,422人 (-90)
 計 19,186人 (-46)
 令和3年3月1日現在
 ()内は、前年度比

※6歳~24歳人口の合計

あきしまの青少年

NO.262
 2021
 3/15

編集・発行/昭島市青少年問題協議会事務局(子ども家庭部 子ども育成課内) 〒196-8511 昭島市田中町1-17-1 ☎042(544)4313

おもな内容

- 1面 青少年の善行を表彰・健全育成協力者に感謝状贈呈/校長随想
- 2面 小学生手作りたこ展示のようす/青少年とともにあゆむ小学校地区委員会の活動と紹介/青少年フェスティバル実行委員募集
- 3面 子どもと親の家庭教育講座/あいさつ標語/子ども家庭支援センター/東京「OSEKAI 化」計画/昭島市くらし・しごとサポートセンター/日本の言い伝え
- 4面 多摩辺中学校生徒による作文/第67回昭島市成人式/放課後子ども教室登録を受付しています/4コマまんが

青少年の善行を表彰・健全育成協力者に感謝状贈呈

令和2年度の昭島市青少年善行表彰式と青少年健全育成協力者への感謝状贈呈式は2月28日(日)に市役所市民ホールで開催予定でしたが緊急事態宣言に伴い中止となりましたので、表彰式、贈呈式の受賞者の方々の内容をお知らせします。

青少年善行表彰

青少年善行表彰は、善い行いをした青少年を励ますことにより、一層の活躍を期待し、より良い地域社会をつくることを目的に行っています。お名前と表彰内容は次のとおりです。《敬省略》

◆人命救助

- ◆森 海斗 (日野市新町)
 ・高校から帰宅中に拝島橋の欄干を乗り越え飛び降りようとした方の腕を掴み、人命を救助されました。

◆青少年の指導に関すること

- ◆小澤 颯 (中神町)
- ◆一條 佑太郎 (武蔵野)
- ◆藤田 隆太 (拝島町)
- ◆加瀬 陽詩 (大神町)
- ◆猪巻 洋翔 (松原町)
- ◆山本 明依 (朝日町)
- ◆松谷 栄祐 (練馬区田柄)
- ◆磯貝 左京 (八王子市鎌水)
- ◆公共生活への貢献に関すること
- ◆萬谷 柚香 (田中町)
- ◆堀田 茉莉愛 (大神町)
- ◆堀田 鈴音 (大神町)
- ◆大里 優羽 (田中町)
- ◆並木 未彩 (田中町)

◆その他特に善行と認められるもの

- ◆昭島市立 福島中学校合唱部
 ・施設などへの訪問をしボランティア活動をされました。
- ◆宇佐原 嘉晃 (東町)
 ・昭和中の生徒と、こども食堂の橋渡しをされました。
- ◆坂東 知彦 (松原町)
- ◆前田 龍 (緑町)
 ・二名の方は、幼児がバイクと接触したところを、協力し合い対応をされました。

- ◆木下 朱音 (昭和町)
- ◆久保 あずさ (武蔵野)
- ◆河野 将己 (中神町)
- ◆岩本 海睦 (武蔵野)
- ◆原島 楓虎 (緑町)
- ◆渡辺 美穂 (松原町)
- ◆岡野 深智 (美堀町)
- ◆小原 楓 (緑町)
 ・八名の方は、成人式実行委員として活躍されました。

青少年健全育成協力者

青少年の健全育成活動を長年にわたり、積極的に行っている次の方々には青少年健全育成協力者感謝状を贈りました。《敬省略》

- ◆アトリ工村絵の会
- ◆信國 成保 (つつじが丘)
- ◆信國 道子 (つつじが丘)
- ◆補導連絡会拝島中地区
- ◆川上 佳津子 (緑町)
- ◆菅井 早智子 (松原町)
- ◆昭島女性防火の会
- ◆森本 久子 (松原町)
- ◆拝島第二小放課後子ども教室運営委員会
- ◆佐藤 三好 (美堀町)
- ◆青少年とともにあゆむ武蔵野小地区委員会
- ◆松谷 則男 (武蔵野)
- ◆菊田 祐子 (中神町)
- ◆三浦 行夫 (武蔵野)
- ◆青少年とともにあゆむ中神小地区委員会
- ◆富上 祐治 (朝日町)
- ◆西野 博子 (中神町)
- ◆光華小放課後子ども教室運営委員会
- ◆小澤 皖二 (昭和町)

校長随想

「社会に開かれた教育課程」の実現とこれからの青少年育成

昭和中学校校長 並木浩子



平成二十九年告示の学習指導要領による教育課程は、小学校では令和二年度から、中学校では令和三年度から実施されます。この教育課程の趣旨の一つに「社会に開かれた教育課程」があります。これは、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し、学校と社会との連携及び協働によってその実現を図っていくという考え方です。これを踏まえて、今回の学習指導要領の前文には「児童・生徒が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは教職員をはじめとする学校関係者人々も含め、様々な立場から児童・生徒にかかわる全ての大人に期待される役割である」と示されました。これまで、学校は地域のご協力をいただきながら、様々な教育活動を進めてきました。地域には豊かな人材があり、豊かな知恵を授けてくださる多くの方々がありました。校外学習や学校行事はもちろん、小学校における生活科の学習や小・中学校における総合的な学習の時間の学習は、地

域からの学びがなければ成り立たない学習です。また、昭島市には、各地区委員会や各自治会等で実施される多彩な地域行事や後世に守り伝えていくべき伝統行事があり、その活動を通して多くの子供たちが育まれました。まさに「地域は先生」です。

しかし、このコロナ禍により、地域と子供たちとのかわりの形は大きく様変わりしました。令和二年度に予定されていた多くの地域行事や伝統行事が中止されました。余儀なくされました。しかし、その一方で、新しい生活様式の中で、ICT等の力を借りて、新しい方法で新たな人のつながりをつくる試みが始まっています。また、高齢者や異年齢の子供といった世代を超えた交流は、地域において他にはなかなかその機会はありません。このコロナ禍を乗り越える中で、子供たちと地域の新たなかわりが求められ、生まれてくるものと信じています。

昭島の青少年育成が子供たちにかかわる多くの大人と地域により、これからも豊かに展開していくことを、このコロナ禍の収束とともに心より願います。